

背景・課題

- 製造分野ではスマート工場化、農業分野ではロボットによる自動化・データ化、医療分野ではAI、デジタル医療機器等、技術革新等による著しい社会変革。
- 大学等における学生の実験・実習設備はデジタル化対応が進んでいない。特に、**スマート化が進む、工業、農業、医療などの産業分野においては先進技術を活用した設備（DX実習設備）の導入と、実習カリキュラムの高度化が課題。**
- Society 5.0社会を支える人材育成のため、大学等では**実践的な高度専門人材を育成**することが必要であり、**実験・実習設備のデジタル化を進める必要。**

事業内容

デジタル社会への環境変化に対応した資質・能力を涵養するため、**最新のDX教育設備を活用した新たな教育手法を開発し、産業界とも連携した実験・実習の高度化を展開**するとともに、DX実習設備の整備に必要な経費を補助。

専門領域において**最先端の教育設備を活用した実践的な実験・実習カリキュラムを実施**し、デジタル化が進む**産業界を牽引する高度専門人材を育成。**

■ 補助対象：国公立の大学等 ■ 事業期間：最大3年間 ■ 件数・単価：60件程度×1～2億円（カリキュラム開発、DX実習設備 等）

取組イメージ（農業系）

◆ 概要

- センシングを用いた生育観測実習からロボット技術、IoT栽培システムでの実践学習の実施
- 客観的なデータを活用し、経験や勘に頼らない技術はもとより、農業生産のための経営力を身に付けるためのカリキュラムの開発

◆ 想定される成果

- デジタルスマート農業を牽引し、食の安全と高収益を両立する農業専門人材を育成



取組イメージ（医療系）

◆ 概要

- 最新の医療環境に触れることで、効率的な医療方法を学修する技能実習の実施
- AI等を活用する医療機器の操作スキルの向上を推進するカリキュラムの開発

◆ 想定される成果

- AI等を活用した医療診断技術の向上・迅速化
- 最先端の医療機器、デジタルを活用できる医療人材を育成



取組イメージ（工業系）

◆ 概要

- 金属など素形材産業におけるIoT導入に対応した製品開発実習の実施
- IoTやビックデータを活用した建築現場に対応した実践カリキュラムの開発

◆ 想定される成果

- 製造業における技術革新・スマート化を推進
- デジタルを活用した実験・実習環境の刷新により中高生や女子学生の理工系分野への興味関心を向上



目標

- デジタル化が進む産業分野（今後進むと予想される分野を先取りすることも想定）を牽引する高度専門人材を育成・輩出。
- **様々な産業分野**において、IoT（Internet of Things）導入などによる**デジタル化の更なる加速を支える人材として貢献。**